

日本ニュージーランド水素コリドー設立総会（3/5）（3分程度：日本語）  
（祝辞）

1. 本日の日本ニュージーランド水素コリドー設立を心からお喜び致します。参加企業の株式会社大林組様、川崎重工業株式会社様、株式会社商船三井様、千代田化工建設株式会社様、おめでとうございます。
2. 水素コリドーは、ニュージーランドのグリーン水素供給の豊かな可能性を、日本の2050年カーボンニュートラル宣言に結びつけるためのサプライチェーン構築を目指すという極めて意欲的な目標を立て、さまざまな取組を行うための協議の場だと承知しています。
3. 再生可能エネルギーを使って水を電気分解する、いわゆるグリーン水素は、大型輸送、鉄鋼など化石燃料からの転換が困難な分野における極めて魅力的なオプションです。  
政府も、カーボンニュートラル実現に向けて、GXを強力に推進し、その中で水素を重要分野として明確に位置づけています。2023年に策定されたGX基本方針では、今後10年間に官民で150兆円の関連投資を引き出す目標と、政府の先行投資支援について定めています。  
また、同基本方針を受けて改定された水素基本戦略では、2040年までに水素・アンモニアを1200万トン導入する目標を掲げています。いずれも、極めて意欲的な方針です。
4. ところが、我が国では再生可能エネルギー比率が23%と低く、グリーン水素の十分な確保が困難です。貯蔵や輸送が可能という水素の特性にかんがみれば、再生可能エネルギー比率が87%と非常に高いニュージーランドで水素を製造して日本に輸送することができれば、21世紀における両国間の新しいウィン・ウィン・モデルになることは間違いありません。
5. 2025年、フィジーにグリーン水素を運び、活用する実証が成功しました。端緒は既に開かれました。今回水素コリドー設立をきっかけとして、皆様方のご努力によって様々な諸課題がひとつひとつ解決していき、昨年成功した道のりが、日本まで届く大きな流れとなることを祈念して、私の挨拶とさせていただきます。